

第1回 「オリエンテーション」

担当者について

- 担当者: 河野 稔 (かわの みのる) 健康システム学科 講師
 - Web: <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/>
 - E-mail: mkawano@ed.hyogo-dai.ac.jp
- ゼミ生の自己紹介
 - 簡単な自己紹介と抱負を話してもらいます

ゼミの進め方

ゼミ（ゼミナール）形式の授業の一番の特徴は、**少人数でテーマについて資料を購読したり、報告したり、議論をすること**です。つまり、講義のように教員からの一方向の学習ではなく、教員と学生や学生同士の双方向の学習になります。

《全体》は授業全体で、【毎回】は授業の回ごとに、次のような内容をする予定です。

- 《全体》大学での学習のための基礎知識と学習スキルを習得する
 - ノートの取り方、文献・資料の探し方、文献の要約（書評）、文書の書き方
 - レポートの書き方、発表（プレゼンテーション）
- 《全体》ゼミの内容について自由に意見を出しあって、問題点や解決策を見つけ出す
- 《全体》テーマやゼミ活動について疑問・質問があれば、ゼミ全体で考える
- 《毎回》自分が調べたこと／まとめたことを説明／発表する
- 《毎回》他の人の説明／発表に質問したり自分の意見を述べる
- 《毎回》ゼミ活動の進捗状況を報告する（数分程度）

このゼミのテーマの基礎知識

情報モラル：情報化社会の光と影

- 情報化社会の現状
 - インターネットが生活の一部に：携帯電話の契約数は1億以上（2010年3月末現在）
 - インターネットが既存のメディアに迫っている（例：広告効果は、テレビや新聞に次ぐ）
- 光の側面
 - 総表現者社会：ブログ、SNS、Twitterなどで誰もが情報を発信できる
 - 群衆の叡智：大勢の個人の知識を集約できる（ウィキペディア）
 - 知識の高速道路：手軽に専門知識を得たり専門スキルを修得できる（無償の場合も）
- 影の側面
 - 精神的な被害：情報漏えい、誹謗中傷、有害情報、迷惑メールなど
 - 経済的な被害：知的所有権の侵害、売買のトラブルなど
 - 犯罪による被害：名誉毀損、違法／危険物販売、ネット詐欺、コンピュータウイルスなど
- 情報化社会を支える三本柱
 - 技術：情報技術による対策（フィルタリング、バイオメトリックス：生体認識、等）
 - 規制：法律の整備（不正アクセス禁止法など）、警察による監視、民間の自主規制
 - 倫理：個人の自覚・自律を高める（情報教育、啓蒙活動）

参考文献

- 情報教育学研究会 情報倫理教育研究グループ編「インターネット社会を生きるための情報倫理 2011」, 実教出版 (2011.02).
- 情報教育学研究会 情報倫理教育研究グループ編「インターネットの光と影 Ver.4」, 北大路出版 (2010.01).
- 梅田望夫「ウェブ時代をゆく」(ちくま新書 687), 筑摩書房 (2007.11)

授業計画

回	日付	内容
第1回	4月13日(水)	オリエンテーション
第2回	4月20日(水)	学習活動における基本的知識と学習のスキル
第3回	4月27日(水)	文献検索、資料収集
第4回	5月11日(水)	学習活動の基礎知識(1)
第5回	5月18日(水)	学習活動の基礎知識(2)
第6回	5月25日(水)	学習活動の基礎スキル(1)
第7回	6月1日(水)	学習活動の基礎スキル(2)
第8回	6月8日(水)	演習課題への取り組み(1)
第9回	6月15日(水)	演習課題への取り組み(2)
第10回	6月22日(水)	演習課題への取り組み(3)
第11回	6月29日(水)	演習課題への取り組み(4)
第12回	7月6日(水)	学習成果の表現方法
第13回	7月13日(水)	成果の発表(1) 文書や口頭
第14回	7月20日(水)	成果の発表(2) 文書や口頭
第15回	7月27日(水)	成果の発表(3) 文書や口頭／学習のまとめ

次回の予定

「学習活動における基礎的知識と学習スキル」

大学での学習活動において、どのような知識が欠かせないか、また必要となるスキル(技能)にはどのようなものがあるかを考えます。

- 大学の授業への取り組み方
- ノートの取り方(ノートテイキング)

準備するもの

- キャンパスガイド
- 授業のノート(どの授業でもよい)
- 自分が「ノートを取るのに役立つ」と思う筆記用具